

第三期 - ①

守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト報告書

開催日：平成28年8月27日（土）

時間：13時30分～15時

場所：レクチャールーム，イチモンジタナゴ飼育場

参加人数：13名

運営スタッフ：高木，松永，門，精華大学板倉ゼミ学生

- 内容：
- ・イチモンジタナゴ紙芝居を聞く
 - ・棲み分けの勉強
 - ・イチモンジタナゴ掲示板のペンキ塗り
 - ・繁殖水槽の水替え，掃除，ヨシ植え

今回の活動は盛りだくさんでした。

まずは，これから園内で来園者に対して行うイチモンジタナゴの紙芝居を上演しました。



この内容は，イチモンジタナゴを知らない人に知ってもらおうという内容ですので，プロジェクトメンバーにとっては復習のようなものです。ですので，ところどころで質問を投げかけたのですが，ほとんど答えてくれたのでみなさんの知識が身についていることをしっかりと感じる事ができ，とても嬉しく思いました。

次に，ホワイトボードを使って当園の噴水池で将来イチモンジタナゴが生息するためにはどのような環境にしていくのが良いかという内容で勉強をしました。

そして，噴水池南側にあるヨシ原はなんのためにあるのか考えてもらいました。それが，今回の水槽

掃除の後に行うレイアウトに繋がるのです……。



実際に噴水池にあるヨシ原を見に行きます。



その後、移動して看板作りの作業に入りました。



今回は当園の施設管理担当者があらかじめ作製したものにみんなでペンキや防腐剤を塗りました。
次回までには完成して来月の活動で掲示物をみんなで作って貼ります！

今日最後の活動は、今年多くの稚魚を残してくれた繁殖水槽を整える作業です。
まずは、親タナゴとその稚魚たちが一緒に入っている水槽を観察しました。



稚魚を見つけ、即座に「かわい〜い！」と歓声が上がったことに、みなさんのイチモンジタナゴへの愛情を感じました。

いっぱい増えてしまったモノアラガイの駆除と、水槽の壁についているコケ取りをしながら、水を半分近くまで抜きました。



その後は、先ほど勉強したヨシ原を作ります。親と一緒にいる稚魚たちですが、野生では水流のないヨシの間に入って隠れることができ安心できる場所となります。この水槽内では天敵はいませんが稚魚たちはきっとこの間に入ってくれることでしょう。



レイアウトが済んだところで、水を足します。みんなでそーっとバケツの水を入れていきます。



これで完成です！ もう水には手を入れずに観察をします。



この後再びレクチャールームに戻り、感想文を書いてもらいました。

そして、次回はとうとうこのプロジェクトの最終回です。1月から始まったこのプロジェクトの集大成として来園者に知ってもらうための掲示物を作り、あの掲示板に貼る予定です。

今回もあっという間の1時間半でしたが、みなさんの真剣なまなざしとテキパキとした作業は毎回感心するほどにレベルが上がっていく気がします。猛暑続きの毎日でしたが、今日は少し気温が低く曇っていたこともあり、とても作業がしやすくてよかったです。



この活動は、公益財団法人自然保護助成基金第26期（2015年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成による支援を受けて行われています。